東北地方

名前

問1　東北地方を東西に分断するようにそびえる奥羽山脈は、この地域の冬の気候に大きな影響を与えています。その地形的特徴と気候の関係について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

1. 太平洋側から吹く湿った季節風が奥羽山脈によって遮断されるため、太平洋側にのみ大雪が降り、日本海側は常に乾燥する。
2. 奥羽山脈が冬の冷たい季節風を完全に防ぐ壁となるため、山脈より南側の地域では雪が全く降らなくなる。
3. 奥羽山脈が非常に低いため季節風がそのまま通過し、東北地方の全域で日本海側から太平洋側まで均一に雪が降り積もる。
4. 日本海側からの湿った季節風が奥羽山脈にぶつかって上昇することで、日本海側に大雪をもたらし、太平洋側には乾燥した空気を運ぶ。

問2　岩手県を代表する伝統的工芸品である「南部鉄器」の特徴や背景について述べた文として、正しいものはどれか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

1. 日本海側の気候を生かした漆塗りの技術が特徴で、主に高級な食器として発展した。
2. 盛岡市や奥州市を中心に生産され、鉄瓶などに代表される頑丈で独特の質感を持つ鋳造品である。
3. ブナやスギなどの豊富な森林資源を利用し、樹皮を加工して作る木工品である。
4. 京都から伝わった高度な織物の技術を背景に、華やかな模様の衣服として普及した。

問3　オホーツク海から東北地方の太平洋側へ向かって吹く北東の風「やませ」が、夏の間も長期間にわたって吹き続けた場合、この地域の農業にはどのような影響が出ると考えられますか。（2016年 高知県公立入試 類似）

1. 気温が上がらず日照時間も不足するため、稲などの作物の生育が悪くなる冷害が発生する。
2. 大雨を伴う強風が続くため、河川の氾濫によって農地が浸水する洪水被害が発生する。
3. 乾燥した強い風によって農地の水分が奪われ、農作物が枯れてしまう干害が発生する。
4. 急激な気温上昇をもたらし、農作物が乾燥して品質が低下するフェーン現象が発生する。

問4　山形県の北西部に位置し、日本を代表する河川の一つである最上川との関わりが深い都市について、その地理的特徴や産業を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2017年 東京都公立入試 類似）

1. 北上川の流域に位置し、古くから東北地方の政治・経済の中心として発展してきた仙台市。
2. 標高の高い山々に囲まれた盆地に位置し、最上川の上流部で果樹栽培が盛んな山形市。
3. 日本一の長さを誇る信濃川の河口に位置し、大規模な穀倉地帯を背後に持つ港湾都市である新潟市。
4. 庄内平野で生産された銘柄米の集散地として発展し、最上川の河口に位置する港町である酒田市。

問5　日本の地方別の特徴について、ある地方では面積割合（約17.7%）が人口割合（約7.1%）の2倍以上となっています。このデータから読み取れる東北地方の実情と、比較対象となる他の地方との関係について述べた文として正しいものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）

1. 広大な面積に対して人口が少ないため人口密度は低く、人口が集中する関東地方などとは対照的な指標を示す。
2. 面積割合と人口割合の差が小さいため、中部地方と同様に人口が各県に分散し、全国平均に近い人口密度を保っている。
3. 人口密度が全国で最も低い水準にあるため、東北地方には人口が100万人を超える都市や政令指定都市は一つも存在しない。
4. 人口割合が面積割合を大きく下回っているのは、広大な土地のすべてが工業地帯として利用され、居住に適さない場所が多いからである。

問6　宮城県の県庁所在地である仙台市のように、都道府県名と県庁所在地の都市名が異なる自治体があります。これと同じ条件にあてはまる「県名と県庁所在地名」の正しい組み合わせを選びなさい。（2017年 鳥取県公立入試 類似）

1. 香川県 ― 高松市
2. 新潟県 ― 新潟市
3. 青森県 ― 青森市
4. 佐賀県 ― 佐賀市

問7　東北地方の略地図上に、日本海側の海岸から太平洋側の海岸へ向けて横断するように直線を引き、その線に沿った標高の変化を「地形断面図」として表したとします。このとき、最も適切な地形の特徴を説明しているものはどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

1. 中央部に奥羽山脈が位置するため、断面の中央付近の標高が最も高く、東西の両海岸付近が低地になっている。
2. 東西の両海岸付近に高い山地が連なっており、中央部は大規模な平野や盆地のみで構成されている。
3. 全域にわたって標高の変化がほとんど見られず、日本海側から太平洋側まで平坦な土地が続いている。
4. 日本海側から太平洋側にかけて標高がなだらかに下がり続け、東端の海岸で最も標高が低くなっている。

問8　東北地方の産業について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして、正しいものはどれですか。「東北地方の山間部や積雪の多い地域では、冬の（ X ）を利用した（ Y ）として、漆器や鉄器などの製作が古くから行われてきた。これらは現在、伝統的工芸品として指定されているものも多い。」（2017年 岡山県公立入試 類似）

1. X：農閑期 Y：副業
2. X：農閑期 Y：商業
3. X：農繁期 Y：工業
4. X：農繁期 Y：副業

問9　宮城県仙台市宮城野区における、1998年と2025年の状況を記録した資料を比較した際、この地域の土地利用の変化について説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）

1. かつて大規模な建物が立ち並んでいた中野五丁目付近では、自然環境を保護するために広大な田畑へと土地利用が変化した。
2. 仙台市宮城野区全体において、急速な過疎化の影響で住宅地が激減し、かつての森林や山林が復元される変化が見られた。
3. 港二丁目付近では、1998年時点で存在していた工場が、2025年には神社を中心とした伝統的な集落へと変化した。
4. かつて集落や田畑が広がっていた中野五丁目付近では、都市再開発や震災復興によって大規模な建物へと土地利用が変化した。

問10　江戸時代に河村瑞賢によって整備された「西廻り航路」が、当時の東北地方の物流や社会に与えた影響についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2026年 京都府公立入試 類似）

1. 外国船との貿易を目的とした航路として整備され、酒田港は清やオランダとの取引を行う国際貿易港として発展した。
2. 日本海沿岸の米などの物資が、瀬戸内海を経て大阪へ大量に輸送されるようになり、酒田などの寄港地が繁栄した。
3. 太平洋側の沿岸部を航行し、房総半島を回って直接江戸へ物資を運ぶことが可能になったため、東北の内陸開発が進んだ。
4. 最上川の下流から上流に向けて物資を運ぶ技術が向上したことで、内陸部の米を直接太平洋側の仙台へと運ぶ主要ルートとなった。

問11　東北地方の中央部を縦断する奥羽山脈が、この地域の気候に与える影響についての説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 徳島県公立入試 類似）

1. 夏の冷たい風である「やませ」を遮ることで、太平洋側の平野部における冷害の発生を完全に防いでいる。
2. 標高が非常に高いため、山脈を境に気温差が激しくなり、日本海側のみが一年中温暖な気候となっている。
3. 冬に吹く北西の季節風が山脈にぶつかることで、日本海側に雪をもたらし、太平洋側を乾燥させる原因となっている。
4. 山脈が季節風を完全に遮断するため、東北地方の太平洋側では年間を通して降水量が極めて少なくなっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 日本海側からの湿った季節風が奥羽山脈にぶつかって上昇することで、日本海側に大雪をもたらし、太平洋側には乾燥した空気を運ぶ。	東北地方の中央に位置する奥羽山脈は、冬に日本海から吹く湿った北西の季節風を遮る壁の役割を果たします。風が山脈を越える際に上昇して雪を降らせるため、日本海側は世界有数の豪雪地帯となります。一方で、山脈を越えて太平洋側に吹き下ろす風は水分を失って乾燥しているため、太平洋側では冬に晴天が多くなるという気候の地域差が生じます。
問2	答え 2 盛岡市や奥州市を中心に生産され、鉄瓶などに代表される頑丈で独特の質感を持つ鋳造品である。	南部鉄器は岩手県の北上川流域などで得られる砂鉄や岩鉄、粘土などを原料として発展しました。鉄を溶かして型に流し込む「鋳造（ちゅうぞう）」という技法が用いられており、その重厚な風合いと高い耐久性が特徴です。他の選択肢にある漆器、織物、木工品とは、素材や製造工程において明確に区別されます。
問3	答え 1 気温が上がらず日照時間も不足するため、稲などの作物の生育が悪くなる冷害が発生する。	やませは冷たく湿った空気を運んでくるため、濃い霧が発生しやすく、日照不足と低温をもたらします。特に開花期や結実期の稲にとって、この低温は致命的なダメージとなり、収穫量が著しく減少する「冷害」を引き起こします。かつて東北地方では、このやませによる飢饉が何度も発生しました。
問4	答え 4 庄内平野で生産された銘柄米の集散地として発展し、最上川の河口に位置する港町である酒田市。	山形県の最上川河口に位置する酒田市は、背後に広大な庄内平野を抱えています。この平野は日本有数の穀倉地帯であり、酒田は江戸時代から銘柄米の集積・出荷を担う港町として繁栄しました。選択肢にある信濃川は新潟県、北上川は主に岩手県から宮城県にかけて流れる河川であるため、最上川の河口に位置するという条件に合致するのは酒田市です。
問5	答え 1 広大な面積に対して人口が少ないため人口密度は低く、人口が集中する関東地方などとは対照的な指標を示す。	東北地方は、面積割合が約18%に対して人口割合が約7%と、土地の広さに対して人口が少ないという特徴があります。これにより、人口密度は全国的に見て低くなります。これは、狭い面積に膨大な人口が集中する関東地方などの都市圏とは正反対の統計的傾向です。なお、東北地方にも宮城県の仙台市のような政令指定都市は存在しており、地方内での人口分布には偏りも見られます。
問6	答え 1 香川県 — 高松市	宮城県の県庁所在地が仙台市であるように、香川県の県庁所在地は高松市であり、県名と都市名が異なります。一方、新潟県、佐賀県、青森県は、いずれも県名と県庁所在地名が同一の名称となっています。中学地理では、このように名称が異なる県庁所在地を正確に把握しておくことが重要です。
問7	答え 1 中央部に奥羽山脈が位置するため、断面の中央付近の標高が最も高く、東西の両海岸付近が低地になっている。	東北地方の中央部には、日本の「脊梁（せきりょう）」とも呼ばれる奥羽山脈が南北に走っています。日本海側から太平洋側へ東西に断面をとると、この奥羽山脈にあたる中央部分の標高が最も高くなり、その両側には庄内平野や仙台平野などの低地が広がっている様子がわかります。
問8	答え 1 X：農閑期 Y：副業	冬の積雪により農業を休まなければならない時期を「農閑期」と言います。この期間に現金収入を得るために行われた仕事が「副業」です。東北地方の伝統的工芸品の多くは、厳しい自然環境の中で、生活を支えるための知恵として育まれてきました。対義語である「農繁期」は、田植えや稲刈りなどの農作業が忙しい時期を指します。
問9	答え 4 かつて集落や田畑が広がっていた中野五丁目付近では、都市再開発や震災復興によって大規模な建物へと土地利用が変化した。	複数の年次の地形図を比較すると、その地域の景観や土地の使われ方（土地利用）がどのように変容したかを読み取ることができます。仙台市宮城野区の事例では、1998年時点では農業や小規模な居住が中心であった場所が、2020年代には東日本大震災からの復興や都市再開発を経て、商業施設や物流拠点などの大規模な建物へと変化している様子が記録されています。選択肢にある「住宅地の激減」や「工場から伝統的集落への変化」は、実際の土地利用の変化の傾向とは異なります。
問10	答え 2 日本海沿岸の米などの物資が、瀬戸内海を経て大阪へ大量に輸送されるようになり、酒田などの寄港地が繁栄した。	西廻り航路の整備により、東北地方の日本海側の物資（特に米）が、北陸・瀬戸内海を経由して経済の中心地である大阪へ安全かつ大量に運ばれるようになりました。この物流の要所となった酒田港（現在の山形県酒田市）は、「西の堺、東の酒田」と称されるほど商業的に大きな発展を遂げました。太平洋側を通るルートは東廻り航路と呼ばれます。
問11	答え 3 冬に吹く北西の季節風が山脈にぶつかることで、日本海側に雪をもたらし、太平洋側を乾燥させる原因となっている。	奥羽山脈は、冬の湿った北西季節風を遮る壁のような役割を果たしています。このため、風がぶつかる日本海側では世界的な豪雪地帯が形成される一方、山を越えた後の乾燥した空気が流れ込む太平洋側では、冬は晴天の日が多くなります。このように、山脈の存在が地域の気候特性を決定づける大きな要因となっています。